

指揮者プロフィール

2015年、第6回ロブロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第2位。
 京都市立芸術大学、グラーツ芸術大学大学院、チューリッヒ芸術大学大学院をそれぞれ首席で卒業。これまでに、ザグレブ・フィル、マケドニア・フィル、ヤナーチェク・フィル、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥール、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管、日本フィル、新日本フィル、東京フィル、札幌響、神奈川フィル、名古屋フィル、中部フィル、セントラル愛知響、日本センチュリー響、大阪フィル、大阪響、関西フィル、兵庫芸術文化センター管、山形響、広島響、九州響、オーケストラ・ジャパン等を指揮。オペラの分野では、「ラ・ボエーム」、「アドリアーナ・ルクヴルール」、「夕鶴」等を指揮し好評を博す。奈良フィル正指揮者、奈良フィル混声合唱団指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師、大阪音楽大学講師。



指揮
 粟辻 聡

山形交響楽団プロフィール



1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親（2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー）の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集CD」を発売、第55回レコード・アカデミー賞（特別部門 企画・制作）を受賞し全国的な話題となる。

2020年6月より、常任指揮者 阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」をスタート。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響の新たな魅力を発信している。2022年、創立50周年を迎えた。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージック・パートナー ラデク・バボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.yamakyō.or.jp/>

れいわ ねんど
 令和5年度

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう 学校巡回公演事業

やまがたこうきょうがくだん
 山形交響楽団

こうえん
 オーケストラ公演



がっこうじゅんかいこうえんじぎょう 「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、
 子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの
 豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、
 将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。
 ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
 また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



ぶたいげいじゅつとうそうごうしえんじぎょう がっこうじゅんかいこうえん
 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
 どりつぎょうせいほうじん にほんげいじゅつぶんかしんこうかい
 独立行政法人 日本芸術文化振興会

プログラム

だいぶ 第1部

じだい せんくしゃべーとーヴェン ガーシュイン せかい あい ねいろ
【時代の先駆者Beethoven&Gershwin/世界で愛されるオーケストラの音色】

ガーシュイン：I Got Rhythm (アイ・ガット・リズム)

アメリカの作曲家ジョージ・ガーシュインは、数多くのミュージカルや映画音楽を手掛けており、「アイ・ガット・リズム」もミュージカル「クレイジー・ガール」の劇中曲として作曲されました。
今でもコマーシャルなどに度々使用される、とても人気の高い曲です。

《音楽クイズ&楽器紹介！》

20種類以上の楽器と60人の音楽家が奏でる音色の個性を感じる！

♪音楽なぞなぞ

ある動物をイメージした曲を演奏します。どんな動物が想像しながら聴いてみましょう。

♪楽器の名前をおぼえちゃおう！

オーケストラで使われる楽器にはどんなものがあるんだろう？どんな音がするのかな？

それぞれの楽器の、音の高さや音色の違いをたしかめてみましょう。

♪指揮者に挑戦しよう！ / ビゼー：歌劇「カルメン」より「闘牛士の行進」

指揮者の役割や指揮の仕方をやさしくレクチャーし、代表の児童生徒の皆さんに実際にオーケストラを指揮していただきます。

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章

交響曲第5番「運命」は、ベートーヴェンの創作意欲が最も高かった時期の作品の一つで、人気も高く、特に日本では冒頭の部分を「かく運命が戸をたたく」とベートーヴェン自身が語ったと伝えられているところから、「運命」というニックネームで呼ばれ親しまれています。
まさにクラシック音楽を代表する交響曲の1つです。

きゅう けい 憩 ●●●

だいぶ 第2部

かいたくしゃ どうけい こきょう あい
【開拓者への憧憬&故郷への愛】

児童生徒の皆さんとオーケストラのコラボが生み出す一期一会！

コーブランド：組曲「アパラチアの春」より第2曲、第7曲

コーブランドが、1944年に書いたバレエ音楽が「アパラチアの春」です。

このバレエは、大変好評で、1945年にピューリッツァー賞とニューヨーク音楽評論家賞を受賞し、彼の代表作といっても良い作品です。

この作品は、その後8曲からなる組曲にまとめられ、本日は第2曲と一番有名な第7曲をお聴きいただきます。

《オーケストラと一緒に音楽を楽しもう！》

♪オーケストラと共演！ (①～③の中から選択)

- ①3つの「トルコ行進曲」を使ってリズムをみんなで作ろう！
- ②合唱との共演
- ③吹奏楽部・管弦楽部との共演

♪合唱「各校校歌」

皆さんの学校の校歌がオーケストラで演奏されます！
迫力あるオーケストラサウンドをお楽しみください。

スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より第2曲「モルダウ」

「わが祖国」の2曲目の「モルダウ」はチェコの第2の国歌とも呼ばれ、親しみやすい旋律と壮大なモルダウ川のイメージが浮かぶことから、日本でもとても有名な1曲です。
上流から下流へ、川の流れるドラマを、音楽がつむぎながら、最後は豪華に盛り上がる曲となっています。